

2017年6月30日

第6期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）

## 貸借対照表及び個別注記表

阪急百貨店ユニフォーム 株式会社

# 貸借対照表

(2017年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	724,370	(負債の部)	693,624
流動資産	695,825	流動負債	690,469
現金及び預金	3,916	買掛金	490,530
売掛金	613,715	短期借入金	150,113
商品	75,408	未払金	24,799
前払費用	2,646	未払事業所税	243
未収入金	138	未払費用	2,234
		未払法人税等	9,640
		未払消費税等	1,512
		前受金	3,103
固定資産	28,545	預り金	425
有形固定資産	9,935	賞与引当金	7,764
建物附属設備	8,404	役員賞与引当金	102
器具及び備品	1,531		
		固定負債	3,155
無形固定資産	2,291	退職給付引当金	1,510
ソフトウェア	2,291	役員退職慰労引当金	1,645
		(純資産の部)	30,746
投資その他の資産	16,318	株主資本	30,746
差入保証金	16,318	資本金	10,000
		利益剰余金	20,746
		利益準備金	311
		その他利益剰余金	20,434
		繰越利益剰余金	20,434
合 計	724,370	合 計	724,370

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産  
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

商	品	最終仕入原価法
---	---	---------

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員賞与引当金	役員賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
---------	----------------------------------

退職給付引当金	従業員の退職給付に備えるため、当社退職金支給規程に基づき、自己都合による期末退職金要支給額を計上しております。
---------	---

役員退職慰労引当金	役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
-----------	--

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	---

6. 会計方針の変更

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、従来、有形固定資産の減価償却方法として、主として定率法を採用しておりましたが、当期より、定額法に変更しております。

この変更は、保有する有形固定資産の償却方法について、使用状況等を踏まえ改めて見直しを図ったところ、耐用年数の期間内に急激に劣化するものではなく、その効果は安定的に発現すると見込まれるため、定額法を採用した方が実態をより適切に表すと判断したことによるものです。

## 当期純損益金額

当期純利益	16,976千円
-------	----------